

竹原良文教授還暦祝賀論文集

<https://doi.org/10.15017/10700>

出版情報：法政研究. 42 (2/3), pp.1-3, 1975-12-25. 九州大学法政学会
バージョン：
権利関係：

竹原教授還曆祝賀論文集

題簽 吉田道也

還曆を祝して

謹んで本書を

竹原良文先生に

奉呈する。

昭和五十年十二月

執筆者一同



九州大学教授 竹原良文先生

竹原教授は、大正四年八月一七日福岡市に生まれ、福岡県立中学修猷館から福岡高等学校を経て、昭和一四年三月九州帝国大学法文学部法科を卒業された。今中次歴教授のもとで政治学の研究をつづけることを熱望されたが、戦雲急を告げる当時の事情から志を得ることができず、産業組合中央金庫（現農林中央金庫）に就職し、その間三年にわたって兵役にも従われた。昭和一九年八月外務省調査局へ転職し、主としてソビエト連邦の研究にたずさわられた。

昭和二二年四月九州大学法文学部専任講師として迎えられ、翌二三年四月助教に進み、二四年四月九州大学法学部の創立にもない、同学部に所属し、三〇年四月教授に昇任され、現在にいたっている。その間、政治学や政治学史の講義を担当するとともに、大学院法学研究科政治学専攻の指導にも当ってこられた。竹原教授は、政治学や政治学史の研究のなかでもとくに、一九世紀前半のヨーロッパにおけるロマン主義政治思想の研究に尽力され、多彩な語学力とユニークな比較研究方法を駆使し、厳格な原典講読と史料考証をとおして、多くの優れた成果を挙げられている。教授の地味ながらも一貫して変らぬ真摯な研究態度と学風は、同僚や学生のひとしく尊敬するところであり、その研究室からは多くの前途有為な学究が育っている。教授はまた、日本政治学会の理事を長年つとめ、学界の発展にも貢献された。

大学行政面における功績も大きく、法学部長や法学研究科長をはじめ大学評議員、学生部参与などを歴任し、ことに学部長のときには、ちょうど苦難の大学紛争のさなかにあたり、よくその重責に耐えられた。教授はいまなお、学問への限りない情熱を傾け、寸暇を惜しんで研究にはげむ一方、教育・行政面でも同僚の先頭に立って職責を果たされている。

竹原良文教授著書および論文目録

著書

- ソヴェート同盟の労働政策と社会保障
 昭和二四年 真理社
- カトリン「政治社会学の理論と実際」(共訳)
 同 四二年 法律文化社
- カトリン「体系政治学」(上)―政治社会学の原理―(共訳)
 同 四六年 法律文化社
- フランス革命と近代政治思想の転回(編著)
 同 四八年 草薙書房
- 近代政治思想(編著)
 同 四八年 草薙書房

論文

- ロシヤ農奴制に関する一考察
 昭和二四年 法政研究二六卷三一四合併号
- ロシヤ重商主義の政治思想
 同 二五年 同 一七卷一―四合併号
- 大学代表者国際予備会議報告
 同 二五年 同 一八卷二号
- 社会階級の本質―学説史の立場からの研究―
 同 二六年 同 一八卷三号、四号
- トマス・ホップスの政治思想における現実主義
 同 二七年 同 二〇卷一号
- J・W・ゴオフ「ジョン・ロックの政治哲学」
 同 二七年 日本政治学会年報「政治学」
 (岩波書店)
- 自由の観念と計画経済
 同 二八年 法政研究二〇卷二―四合併号
 (西山教授還暦祝賀論文集)
- スターリン『マルクス主義と言語学の諸問題』の
 政治理論への影響
 同 二八年 政治研究創刊号

マキアヴェルリの政治思想序説―変革期の政治権力の論理―	昭和三〇年	法政研究二二卷二―四合併号 (今中教授還暦祝賀論文集)
トマス・ホッブス	同 三〇年	今中次曆監修「政治学講座」 Ⅲ政治思想(上)(理論社)
ジャン・ジャック・ルソウ	同 三〇年	同 右
政治意識の構造的分析の一つの試論 ―政治思想史研究方法によせて―	同 三四年	法政研究二五卷二―四合併号 (菊池教授還暦祝賀論文集)
社会変動の要因に関する理論的研究―技術的基礎について―	同 三五年	同 二七卷一号
国家と経済の相互連関についての一試論 ―三〇年代を中心として―	同 三五年	政治研究九号
『福祉国家』の観念とその実体	同 三六年	法政研究二七卷二―四合併号 (舟橋教授還暦祝賀論文集)
ヘーゲル『法哲学』における「外面的国家」の 本来の国家への移行についての考察	同 三八年	同 二九卷一―三合併号 (青山教授還暦祝賀論文集)
ヘーゲルの法・国家論における意識形態と論理 ―精神の自己疎外と国家の必然性の論証―	同 三九年	同 三一卷一号
ルソー社会契約思想の人間論的根拠―人間疎外とその回復―	同 四一年	同 三二卷二―六合併号 (林田・具島教授還暦祝賀論文集)
近代ナショナリズム思想の形成	同 四二年	具島兼三郎教授還暦記念論文集 「ナショナリズムの政治学的研究」 (三一書房)
△絶対主義△の概念の政治学的再検討―近代国家の意義―	同 四二年	法政研究三四卷二号

ドイツ・ロマン主義の形成と政治思想史上のその特徴	昭和四三年	法政研究三四卷五―六合併号
フランス革命の世界史上の位置に関する若干の理論的考察	同 四三年	同 三五卷三号
ノヴァリス(F・v・ハルデンベルク)のフランス革命批判	同 四五年	同 三六卷二―六合併号 (高田教授還曆祝賀論文集)
F・シュレーゲルの初期政治思想	同 四六年	同 三七卷三―四合併号
平和綱領としての統合ヨーロッパの理念 ―F・シュレーゲルの政治思想における転向―	同 四七年	法政研究三八卷二―四合併号 (伊藤教授還曆祝賀論文集)
「コンコーディア」誌の政治思想 ―F・シュレーゲルの後期ロマン主義―	同 四八年	同 三九卷二―四合併号 (吉田教授還曆祝賀論文集)
P・B・シュエリ―「議院改革」の哲学観―考 ―ロマン主義政治思想の一転機―	同 四九年	同 四〇卷二―四合併号
アダム・ミュラーの実際政治論 ―ドイツ・ロマン主義政治思想研究―	同 五〇年	同 四二卷一号